

国語

5月1日(金)

きつつきの商売

P.19

音読 ●1場面を音読して、ようすを思い出そう。

だれが出てきて、どんなことがあった話だったかな？

ししゃ ●P.18の5行目(『きつつきは、』)～P.19の3行目(『すぎてゆきました。』まで)をししゃしよう。

- ① 教科書に書かれている通りに書く。
- ② 行と行の間は1行あける。
- ③ ゆっくり、ていねいな字で書く。

活動 ●まちがいさがしをしよう。

うんと

四分音符よりも長い時間がすぎたゆきました。

うっとり

きつつきも聞いていました。

だまって

きつつきを見上げたまま聞いていました。

こだましました。

ぶなの森に ~~なりました。~~

カいっぱい

きつつきは、ぶなの木の音をきき、くちばしでたたきました。

活動 ●1場面のP.18の5行目(『きつつきは、』)～P.19の3行目(『すぎてゆきました。』まで)の登場人物の気持ちを考えて、書こう。

<きつつきの気持ち> (例)

「おとや」をひらいてからはじめてのお客さんだったので、ぶなの木をカいっぱいたたいて、「野うさぎさんにいい音を聞かせてあげよう。」と思っていたと思う。音が森の中にきれいにこだまして、「すごくいい音だなぁ。」と思ってきつつきもうっとり聞いていたと思う。

<野うさぎの気持ち> (例)

「静かな森の中にきれいにこだまして、すごくきれいな音だなぁ。音が聞こえなくなるまで、だまってこの音を楽しもう。」と思っている。「きつつきの『おとや』ですごくいい音が聞けるよ。ってほかの人にも教えてあげたいなぁ。」って思っていると思う。

音読 ●1の場面を音読しよう。

上で考えた気持ちを音読にいかしてみよう。

漢字 ●漢字ドリルの「館」「号」「使」「深」をれん習しよう。

「漢字ドリルの進め方」のやくそくをまもって、がんばりましょう。